

平成30年度 事業報告書

自：平成30年4月1日 至：平成31年3月31日

I 公益目的事業

公益目的事業 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興・継承する事業
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成・自主公演・一般国民への普及啓発活動を行う。

1 普及啓発吟詠発表会（普及啓発吟詠活動）

(1) 普及吟詠発表会

地区または認可団体において開催する「普及吟詠発表会」を支援した。

(2) 小規模普及推進活動

新たなリーフレットを作成し広く配布、地域社会に密着した一般市民への普及啓発活動を支援した。

2 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

(1) 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）

「少年少女吟詠大会」を下記のとおり2地区2会場で開催した。

- ① 平成30年6月10日（日） 神静地区 藤沢市民会館
- ② 平成30年7月16日（月・祝）長野地区 長野市若里市民文化ホール

(2) 尚歯会全国吟道大会・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

70歳以上を対象とした大会を下記のとおり開催した。

- ① 「第6回尚歯会全国吟道大会」を平成31年3月22日（金）、日本教育会館で出吟者570名と会員以外の方を含め多数の鑑賞者が参加して開催した。
- ② 「尚歯会吟詠大会」を下記のとおり6地域で開催した。
 - ア 平成30年 7月15日（日）北海道 道新ホール
 - イ 平成30年 8月18日（土）埼玉 吟道会館
 - ウ 平成30年 8月21日（火）東京 吟道会館
 - エ 平成30年 9月16日（日）沖縄 てだこホール
 - オ 平成30年10月20日（土）神奈川 神奈川公会堂
 - カ 平成31年 3月 1日（金）静岡 三島市民文化会館

3 詩吟の指導者・継承者育成事業（師範位を認定する審査・研修事業）

(1) 準師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体の資格審査申請に基づき認定証（許證）を交付した。

(2) 師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

「師範審査会及び研修講座」を全国から受審者を募集して、下記のとおり北海道・東京2回（吟道会館）・大阪・沖縄の4会場で開催し、全国から受審者が参加して実施した。なお、資格審査合格者163名に認定証（許證）を交付した。

- ①平成30年 8月19日（日）札幌会場 札幌市教育文化会館
- ②平成30年10月20日（土）東京会場 吟道会館
- ③平成30年11月17日（土）沖縄会場 浦添市てだこホール

- ④平成30年11月24日(土)大阪会場 大阪リバーサイドホテル
- ⑤平成31年 2月16日(土)東京会場 吟道会館
- (3) 正師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業
「正師範審査会及び研修講座」を平成30年8月25日(土)、全国から受審者を募集して、東京(吟道会館)で開催した。なお、資格審査合格者90名に認定証(許證)を交付した。
- (4) 上席師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業
「上席師範審査会及び研修講座」を平成30年6月30日(土)、全国から受審者を募集して、長野県諏訪市の木村岳風記念館 吟道研修センターで開催した。なお、資格審査合格者27名に認定証(許證)を交付した。

4 吟詠教本の作成頒布

吟詠教本・教材シリーズの作成頒布

『吟詠教本 漢詩篇(一)～(三)』、『普及版吟詠教本 漢詩篇(一)～(三)』、『吟詠教本 和歌篇(上)、(下)』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇(上)、(下)』、『吟詠教材シリーズ1 俳諧歌撰』、『吟詠教材シリーズII 御製歌・今様・俳諧紀行文・近現代詩・慶弔詩歌篇』、『新装新版愛吟集』などを作成し、希望者に頒布した。

5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に事業計画及び収支予算書、事業報告及び決算報告書、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠に関すること、認可団体・認承団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、年12回発行して会員と関係団体及び国立国会図書館並びに希望者に配付した(配付総数約61万部)。

6 全国吟道講座・地区吟道講座・木村岳風記念館吟詠講座

- (1) 全国吟道講座
「第64回夏季吟道大学講座」を平成30年7月21日(土)～22日(日)、東京のメルパルクホールにおいて、全国から会員及び会員以外の詩吟愛好者1,400名が参加して開催した。なお、外部講師2名と内部講師6名の計8名で実施した。
- (2) 地区吟道講座
「地区吟道講座」を下記のとおり全国9地区11会場(北海道2会場・東北・神静・長野・中部北陸・近畿・中国四国・九州2会場)で開催した。
なお、講師は「夏季吟道大学講座」の講師を含む総本部講師と各地区の講師計4名で実施した。
 - ① 平成30年 9月 9日(日) 九州地区 アザレアホール須恵(福岡)
 - ② 平成30年 9月17日(月・祝) 北陸地区 アイザック小杉文化ホール ラポール(富山)
 - ③ 平成30年 9月30日(日) 北海道地区 北見芸術文化ホール(北海道)
 - ④ 平成30年 9月30日(日) 神静地区 三島市民文化会館(静岡)
 - ⑤ 平成30年10月14日(日) 中部地区 津島市文化会館(愛知)
 - ⑥ 平成30年10月20日(土) 長野地区 下條村コスモホール(長野)
 - ⑦ 平成30年11月 4日(日) 東北地区 仙台サンプラザホール(宮城)
 - ⑧ 平成30年11月11日(日) 北海道地区 道新ホール(北海道)
 - ⑨ 平成30年11月18日(日) 九州地区 てだこホール(沖縄)
 - ⑩ 平成30年11月25日(日) 中国四国地区 観音寺市民会館(香川)
 - ⑪ 平成30年12月 9日(日) 近畿地区 クレオ大阪中央(大阪)
- (3) 特別講座
 - ① 「地区吟道講座の講師研修会」を平成30年4月12日(木)～13日(金)、吟道会館で開催した。
 - ② 「俳諧歌ほか吟詠講座」を平成30年12月8日(土)、平成31年1月12日(土)、吟道会館で開催した。
- (4) 木村岳風記念館吟詠講座
「俳諧歌ほか吟詠講座」を平成31年3月27日(水)～29日(金)、木村岳風記念館・吟道研修センターにおいて開催した。

7 中国移動教室・国内移動教室

- (1) 中国移動教室
「吟道会館落成記念 平成30年度 中国移動教室」として、平成30年5月7日（月）～5月12日（土）まで5泊6日で『北京に岳風先生の足跡を訪ね、長安（西安）の春の詩情を満喫する旅』と題し、西安・北京を旅し、参加者44名で実施した。
- (2) 国内移動教室
「平成30年度 国内移動教室」を平成30年9月12日（水）～9月13日（木）1泊2日で平泉を訪ね、『奥の細道』を題材とし、参加者46名で実施した。

8 地区吟詠大会・地区師範吟詠大会

- (1) 地区吟詠大会
「地区吟詠大会」を下記のとおり10地区10会場で開催し、「全国吟道大会」合吟の競吟及び「全国優秀吟者吟道大会」出吟者の地区予選を行った。
- ① 平成30年4月15日（日） 北陸地区 アイザック小杉文化ホールラポール（富山）
 - ② 平成30年4月22日（日） 神静地区 小田原市民会館（神奈川）
 - ③ 平成30年4月29日（日） 東北地区 都南文化会館（岩手）
 - ④ 平成30年4月29日（日） 長野地区 長野県松本文化会館（長野）
 - ⑤ 平成30年5月6日（日） 九州地区 久留米市文化センター共同ホール（福岡）
 - ⑥ 平成30年5月19日（土） 近畿地区 守口文化センターエナジーホール（大阪）
 - ⑦ 平成30年5月20日（日） 北海道地区 道新ホール（北海道）
 - ⑧ 平成30年5月20日（日） 関東地区 メルパルクホール東京（東京）
 - ⑨ 平成30年5月20日（日） 中部地区 津島市文化会館（愛知）
 - ⑩ 平成30年5月20日（日） 中国四国地区 防府市地域交流センター（山口）
- (2) 地区師範吟詠大会
「地区師範吟詠大会」を下記のとおり3地区で開催した。
- ① 平成30年5月25日（金） 神静地区 小田原市民会館（神奈川）
 - ② 平成31年2月5日（火） 九州地区 クローバープラザ（福岡）
 - ③ 平成31年2月11日（月・祝） 関東地区 日本教育会館（東京）

9 全国吟道大会、全国優秀吟者吟道大会、全国認可団体代表吟道大会

- (1) 全国吟道大会
- ① 全国吟道大会
「第129回全国吟道大会」を平成30年9月23日（日）、愛知県名古屋市の名古屋国際会議場において、全国より参加した出吟者2,785名、入場者142名により開催した。なお、同大会の合吟競吟の最優秀チームに木村岳風賞等を贈った。
 - ② 全国俳諧歌吟詠大会
「第6回全国俳諧歌吟詠大会」を平成30年7月2日（月）、長野県の諏訪市文化センターにおいて各地区から推薦された吟者595名、入場者206名が参加して開催した。なお、同大会の最優秀チームに木村岳風記念館館長賞等多くの賞を贈った。
 - ③ 現代名吟鑑賞会
「現代名吟鑑賞会」を平成30年11月1日（木）古典の日に、東京の吟道会館に於いて名吟家11名、賛助吟者6名の名吟を217名が鑑賞した。
 - ④ 全国青年吟道大会
「第6回全国青年吟道大会」を平成30年8月4日（土）、東京の小岩アーバンプラザにおいて16歳以上35歳以下の青年吟者63名及び青年OB45名、入場者225名が参加して開催した。
- (2) 全国優秀吟者吟道大会
「第25回全国優秀吟者吟道大会」を平成30年10月14日（日）、東京のメルパルクホール東京において、全国10地区から選出された吟者143名、入場者955名が参加して開催した。なお、同大会の漢詩・和歌・連吟の部それぞれ上位3組に「1位（祖宗範木村岳風賞）、2位、3位」として賞状と副賞、次点者各2組に「努力賞」として書状を授与した。

- (3) 全国認可団体代表吟道大会（全国特別維持会員吟道大会）
「全国認可団体代表吟道大会（全国特別維持会員吟道大会）」を平成31年3月10日（日）、東京の日経ホールにおいて、全国の認可団体から選ばれた吟者149名、入場者387名が参加して開催した。なお、独吟出吟者より特別賞として5名に賞状と副賞を授与した。

10 木村岳風記念館・木村岳風墓所の一般公開

この法人の創設者（昭和11年日本詩吟学院創立）である祖宗範木村岳風の生家を保存、管理し、遺品を中心とした歴史資料を展示する木村岳風記念館及び木村岳風墓所を一般に公開した。

11 その他公益目的事業達成の為の事業

- (1) 資格審査及び段伝位等の審査を行った。
- (2) 定時社員総会
「第9回定時社員総会」を平成30年6月9日（土）、吟道会館において開催し、平成29年度事業報告について報告し、その後下記事項について審議、可決承認された。
①平成29年度 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びに財産目録 承認の件
②理事選任の件
③監事選任の件
- (3) 元老・相談役・参与合同会議
「平成30年度元老・相談役・参与合同会議」を平成31年3月8日（金）、吟道会館において開催し、下記事項について説明し、質疑応答を行った。
①2019年度（平成31年度）事業計画書及び収支予算書
②「師範位等認許基準」の変更等
③会員10%増強運動について
- (4) 特別維持会員会議
「第7回特別維持会員会議（吟の総会）」を平成31年3月9日（土）、吟道会館において開催して、下記事項について説明した。その後、吉崎一衛二松學捨大学名誉教授による「日本漢詩」の講演が行われた。
①2019年度（平成31年度）事業計画書及び収支予算書
②「師範位等認許基準」の変更等
③会員10%増強運動について
④文化庁からの説明
⑤吟符の研究
- (5) 認可団体連絡会議
「平成30年度認可団体連絡会議」を下記のとおり全国10地区で開催して、総本部役員と地区担当理事及び当該地区の認可団体代表者、事務担当者及び審査代行者等が参加し、意見交換を行った。
①平成30年7月10日（火）九州地区 TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前（福岡）
②平成30年7月11日（水）長野地区 木村岳風記念館（長野）
③平成30年7月14日（土）中部地区 甚目寺公民館（愛知）
④平成30年7月19日（木）中国四国地区 西川アイプラザ（岡山）
⑤平成30年7月25日（水）東北地区 仙台市戦災復興記念館（宮城）
⑥平成30年8月2日（木）関東地区 吟道会館（東京）
⑦平成30年8月6日（月）北陸地区 高岡市生涯学習センター（富山）
⑧平成30年8月7日（火）北海道地区 北海道立市民活動センター かでる2・7（北海道）
⑨平成30年8月29日（水）近畿地区 大阪リバーサイドホテル（大阪）
⑩平成30年9月6日（木）神静地区 三島市民文化会館（静岡）
- (6) 研修会
①「師範研修会」を下記のとおり仙台、東京、大阪、岡山の4会場で開催した。講師は理事長他で実施した。

- ア 仙台会場：平成30年9月 4日（火）仙台市青年文化センター
- イ 東京会場：平成31年2月 2日（土）吟道会館
- ウ 大阪会場：平成31年2月 6日（水）大阪リバーサイドホテル
- エ 岡山会場：平成31年2月21日（木）西川アイプラザ

② 「吟道修学院」の教育を第2期院生32名を対象に優れた指導者の育成を図るため、吟道会館で開催した。

(7) 認可団体新設認可

認可団体設立の申請に基づき、秀風吟道会（平成30年4月1日付）、吟魂研精会（平成30年4月1日付）、白鳥吟詠会（平成30年10月1日付）を認可団体として承認した。

(8) 認承団体新設認承

認承団体設立の申請に基づき、太平吟詠会（平成30年4月1日付）、青葉岳風会（平成30年10月1日付）を認承団体として認承した。

(9) 広報活動

ホームページの活用

① 学院の紹介及び活動状況の報告並びに大会などの募集案内等を、広報活動と情報公開の一環として掲載した。

② 吟詠を視聴できる「吟詠とは」のコーナーと、機関誌『吟道』に毎月掲載している巻頭詩などを適時更新した。

③ 吟詠を学びたい不特定多数の者に、市町村レベルで当学院の認可団体・認承団体の教場を検索できるようホームページに掲載した。

(10) 渉外活動

官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換及び文化団体との交流を図った。

(11) 教本に関する質問への回答

教本の内容に関する質問は、認可団体の指導者が対応できない質問に対し、認可団体代表者より書面で受け付け回答した。

(12) 公益目的事業を達成する為、定時社員総会及び業務執行理事会・理事会並びに各委員会・各局・各部などの会議を170回開催した。

(13) 吟道会館の運営

日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を受け継ぐ指導者の育成と不特定多数の者への普及啓発活動等を全世界に発信する拠点とする為、また、現在失われつつある吟詠関連の貴重な資料を後世に残す為、公益性を重視した多目的見地から当学院の将来を見据えた用途を考慮し、新耐震基準に則った、祖宗範 木村岳風先生の夢でもある「吟道会館」を健全に運営した。

また、「吟道会館」の維持・管理の為、寄付を全認可団体及び会員並びに一般より受付けた。

(14) 吟詠の関係資料並びに書籍の収集・整理・保管・管理

① 祖宗範木村岳風生家を含む木村岳風記念館の資料の整理・保管・管理及び木村岳風記念館吟道研修センター並びに祖宗範木村岳風墓所の維持・管理を行った。

② 吟道会館の各種資料及び関係書類の整理・保管・管理を行った。

(15) その他

その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行った。

Ⅱ 収 益 事 業

収益事業 公益目的事業を支える為の補助事業

収益事業1 吟詠カセットテープ・CD・DVD及び詩吟啓発物品の作成頒布事業

- 1 吟詠カセットテープ・CDなど、各種教材等を作成して、希望者に頒布した。
- 2 詩吟の副教材として下記の頒布品を希望者に頒布する。
 - (1) 書 籍 『岳風伝』、『詩歌作者事典』など。
 - (2) DVD・CD等 「吟聖木村岳風DVD」、「松井岳洋愛吟韻読抄」、「全国認可団体代表吟道大会ライブDVD」、構成吟CD全5巻、「俳諧歌撰CD第1集」、「俳諧歌撰CD第2集」、「現代名吟鑑賞会ライブDVD」、「全国青年吟道大会ライブDVD」など。
 - (3) その他 和歌・俳句カード
- 3 その他
学院証、会員バッジ、吟マーク入り賞状用紙、ネクタイ、扇子など。

収益事業2 詩吟の技量審査による段伝位等の認定及び認定証（許證）を交付する事業

- 1 認定証（許證）発行
認可団体の資格審査申請に基づいて行われた、昇級（少年少女）・昇段伝位及び師範位の資格審査が行われ、級段伝位（19,078名）、師範位（721名）の合格者に認定証（許證）を交付した。

Ⅲ その他の事業

その他の事業1 近代吟詠の祖 木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀（岳風忌）事業

1 岳風忌

「木村岳風先生67回忌法要及び宣子夫人53回忌法要並びに日本詩吟学院功労物故者会員合祀祭」を、平成30年7月1日（日）、長野県諏訪市地蔵寺に於いて行い、239名が参列、功労物故者会員117柱の合祀を行った。

その他の事業2 詩吟関係の功労者等の顕彰事業

1 顕彰

(1) 冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者に、冠稱（宗佑72名・宗匠30名・宗帥20名）を贈った。

(2) 功労者表彰

吟道顕彰者（功労者の部75名・ボランティアの部24名・寿百歳の部6名・寿九十歳の部244名・会員増強の部5名）の表彰を行った。

(3) 高校生表彰

小学校から高校まで継続して吟詠活動を行っている高校生会員43名を表彰した。

(4) その他

- ① 詩歌吟詠の普及向上等に多大に寄与した者に対し、顕彰・慶弔規程の定めるところにより顕彰した。
- ② 会員増強10%以上を達成した4認可団体（青森岳風会、はまゆう吟詠会、筑紫岳風会、白鳥吟詠会）を表彰した。

2 その他

その他、当学院の目的達成に必要な事業を行った。